



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和5年4月10日 52号 文責 校長 岩下裕之介

気持ちを新たに、素晴らしいスタートを！

4月6日、口石小学校に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。そして、本日、新入生88名を迎え、口石小学校573名の新しい春がスタートしました。新入生のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

学校は学びの場、学校は成長の場です。「ゆめ」の実現のため、「なかま」のため、「ふるさと」のために「やる気」「本気」「根気」の精神でがんばる児童を、教職員一丸となって育てていきたいと考えています。

特に今年度は、「校風をつくるのは自分たち」を合言葉にしています。自分たちが学校をつくる。下級生のお手本になる。そういう自覚をもち、自分の頭でしっかりと考えて、良いと思ったことは、「自分から進んで」「人のために」「学校のために」と、どんどん行動する力を育てていきます。保護者、地域の皆様には、口石小学校の「応援団」として、学校の教育活動をご理解ご支援いただきますようお願いいたします。

令和5年度 口石小学校職員紹介

口石小学校の合言葉

口石小学校では、学校、家庭、地域の役割を右図のように考えています。



① 勉強名人をめざす

自分の得意なことからでいいので、自分で、本気を出して勉強していくと「どうしてこうなるんだろう？」「なるほどね！」と、感動する場面が、必ず出てきます。わからなくて困った時には、どんどん先生や友達に、質問してみましょう。みんなで解決すれば、とっても楽しい気持ちになります。勉強を楽しくするコツは、「自分から進んでする」です。そんな「勉強名人」をめざしてほしいと思っています。



② 心をみがく一日一善（あいさつ、へんじ、くつならべ）

一日一善とは、「一日に一つは良いことをして、それを積み重ねていきましょう。」という取組です。

「あいさつ、返事、くつならべ」など、「これは良い事だ」と自分で考えて行動している人の顔は、キラキラと輝いています。それは、一日一善をすることで、自分の心をみがいているからです。「心をみがく一日一善」に、意識して取り組んで、みんなが楽しい学校をつくっていきましょう。



③ 上級生は下級生のお手本になる

学校は学びの場です。そして、学校は成長の場です。みなさんの「勉強名人」として、本気でがんばる姿や、「心をみがく一日一善」に、進んで取り組んでいる姿を、下級生のお手本になるように、ぜひ、たくさん見せて下さい。

